



「たのしかった秋遠足」

皆野小2年

鈴木 琉菜さん



わたしは、秋遠足のでん車にのるのがたのしみでした。つぎに、おちばひろいがたのしみでした。一ばんたのしみだったのは、アスレチックであそぶことでした。

はじめて、友だちとでん車に

のって、ふあんだったけど、みんながいっしょだったから、ふあんな気もちがなくなりました。おちばひろいでは、きれいでまん丸などんぐりを、いっしょうけんめいさがして、一こ見つけられて、とてもうれしかったです。

そのあと、アスレチックであそんでターザンロープがとてもたのしかったです。こんどは家ぞくとも行って、いもうととあきるまであそびたいです。

帰りは、みんなで自分たちのきつぷをかって、みなのおきと親はなえきにわかれて帰って、少し大人になった気もちになりました。

とてもたのしい遠足でした。  
(評) 遠足の楽しさが目にうかびます。成長が自分でもかんじられましたね。



皆野小6年

橋本 章吾さん



(評) とてもいいねいに書いて、よく整っています。真剣に書いている、筆者の気持ちが伝わってくるような字です。

三沢小3年

島田 結菜さん



(評) 「じ」のはらいが、のびのびと書けています。

国神小2年

武藤 江哉さん



(評) ダイナミックな大きなかほちや。人もていねいに、たのしそうに描けました。



「橋のある景色」

皆野中2年

豊田 真悠さん



(本人のコメント)  
自然豊かな日野沢の川と橋をメインに描きました。遠くの山の木と近くの山の木の描き方も工夫して、よりリアルになるようにしました。日野沢の良い所が描けてよかったです。